

子育ても老後も安心の市政を



日本共産党
市議会議員

山田とし子

<プロフィール>●1948年秩父市生まれ●
すぎのこ保育園29年勤務、主任保育士●一
小、西中PTA役員、全国福祉保育労組埼
玉県本部役員など歴任●飯能市議5期20年、
総務委員長、厚生文教委員長、西部広域事
務組合議員、議会だより編集委員長等歴任

子育て 支援

- 保育料の引き下げ
- 返済不要の飯能市奨学金
制度の創設
- 18歳までの医療費無料化

高齢者 支援

- 自己負担軽減で利用しや
すい介護保険制度に
- 一人暮らし高齢者の支援
強化

仕事と 雇用

- 公共事業など公共調達は、
地元業者優先に
- 若者の雇用促進と障害者
の就労支援

住みよ い地域

- 生活道路や歩道整備
- 信号機、横断歩道、街路
灯整備などの安全対策
- 横田基地へのオスプレイ配備中止と
飯能市上空の飛行訓練中止

子育て支援

保育所待機児童解消

29年度、保育所に入れない児
童は、1歳児が多く約70人にもものぼっています。「この
ままでは仕事が続けられない」と悲痛な声が寄せられてい
ます。

日本共産党は、低年齢児の受け入れ態勢を整え、待機児
童をなくします。

学校給食費無償化

給食費に補助している自治体は全国で55、埼玉県でも
7自治体あります。義務教育は無償の立場から、学校給食
費の無償化をすすめます。

老後も安心

国保税と 介護保険料引き下げ

高すぎる国保税・介護保険料、
市民負担は限界を超えています。他市並に一般会計からの
繰り入れをすれば、一世帯一万円の国保税引き下げは可能
です。

	一般会計からの 繰入金	一人あたり 繰り入れ額
飯能市	2億1533万円	15662円
日高市	3億5497万円	36984円
入間市	5億6338万円	23006円
狭山市	6億1433万円	24418円
所沢市	15億円	27380円

27年度決算資料から

日本共産党は、国
保税・介護保険料引
き下げに全力をあげ
ます。

足の確保

住民の“足の確保”で
安心して住み続けられる地域へ

日本共産党は、既存の公共交通
の維持・確保とデマンド交通シ
ステムや小型循環バスの運行で、市
民の“足の確保”をめざします。

日本共産党
4名の議員団



大久保市長に要望書を提出
新井、金子、山田、滝沢市議

市民の
暮らしを守って
提案し、
行動する

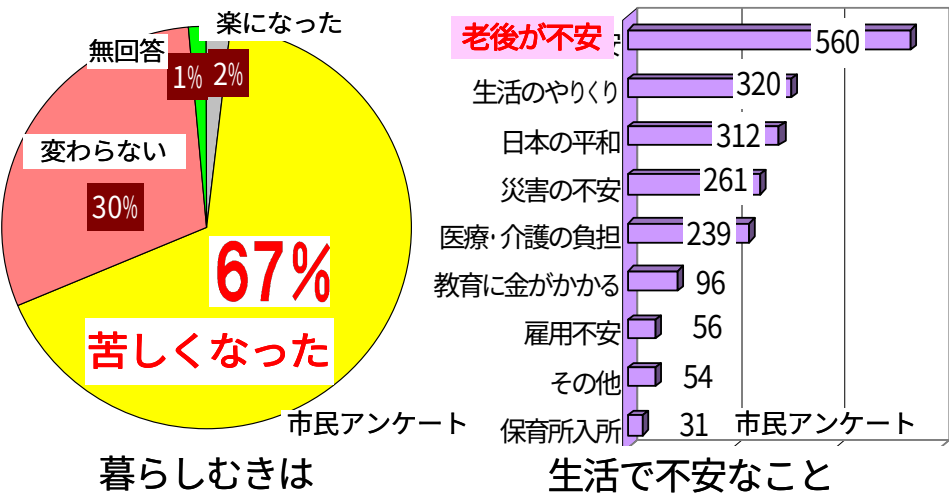
野党共闘すすめる日本共産党の4議席を

新飯能

飯能市本町20-9 Tel042-973-1091 FAX973-1079 2017年2月号外

●日本共産党飯能市委員会は、飯能市議選予定候補者の実績と政策を発表しました。

議会と議員の役割は 市民の暮らしといのちを守ること

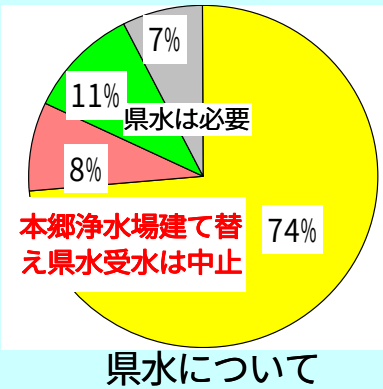


日本共産党が実施した市民アンケートに、「生活が苦しくなった」と回答した方は67%、その理由は、年金の目減り、社会保険料・税負担、物価高などです。また、64%の方が「老後が不安だ」と答えています。

市の提案に
なんでも賛成の

飯能の水を守りましょう

安全で、おいしい飯能の水源があるのに、毎年1億円もの県水を買っています。このままでは、約3万人分の水利権を放棄することになりかねません。本郷浄水場の建て替えで、県水を減らし、飯能の水を守りましょう。



“メッツア”ムーミンパーク 一企業に振り回されない 市民が主人公の市政を

市は、フィンティックグローバル社と協定を結び、宮沢湖に計画されているテーマパークを総合振興計画の柱に位置付け、全面的な協力を約束しています。しかし、詳しい内容は、市民にも議会にも、明らかにされていません。

日本共産党は、第5次総合振興計画策定にあたって、ムーミン頼みではなく、市民の暮らしに寄り添った施策で、地域の再生を図る提言を発表するとともに、徹底した情報公開を求めています。



上下水道料金値上げ 市民生活を圧迫！

飯能市は、水道料金と下水道料金に消費税8%を転嫁しただけでなく、水道料金を17%、下水道料金を14%引き上げました。この値上げが、市民の暮らしと営業を圧迫しています。日本共産党は反対しましたが、保守・公明の議員は、賛成討論までして賛成しました。

27年度からの介護保険料も埼玉県下で最も高い保険料が、さらに値上げされました。

29年度から営業に直結する事業系ゴミが大幅に値上げされます。



	共産党	保守	公明
水道料金値上げ	×	○	○
下水道料金値上げ	×	○	○
国保税値上げ	×	○	○
介護保険料値上げ	×	○	○
事業系ゴミの値上げ	×	○	○

議会・議員でよいのでしょうか

安倍政権の社会保障大改悪

医療も介護も年金も サービスカットと自己負担増

安倍内閣は、年金カット法案、カジノ解禁法案などを強行。軍事費を大幅に増やす一方、医療・介護制度の自己負担を大幅に増やす計画をすすめ、介護保険制度の軽度者の給付サービス削減案を次々と打ち出しています。

※日本共産党は、国に制度改悪反対の意見書を提出するよう提案しましたが、保守・公明の反対で、提出できませんでした。

アベ暴走政治にノーの声を飯能から